

# 記載例

この記載例は、パンフレット「航空機燃料税の税率が引き下げられました」の事例に基づき作成しています。

## 令和 3 年 4 月分航空機燃料税納税申告書

収受印		整理 番号	
申告 者	令和 3 年 5 月 〇 日	(納税地の所在地及び名称) (〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 ) <b>〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3 〇〇空港</b>	(電話) 〇〇〇-〇〇〇 局 〇〇〇 番
		(住所) (〒 - ) <b>〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3</b>	(電話) 〇〇〇-〇〇〇 局 〇〇〇 番
		(氏名又は名称及び代表者氏名) <b>株式会社 〇〇航空 代表取締役 〇〇 〇〇</b>	
		(個人番号又は法人番号) ↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし、ここから記載してください。 1   2   3   4   5   6   7   8   9   0   1   2   3 (同上代理人)	(電話) 局 番
〇〇 税務署長 殿			

下記のとおり航空機燃料税の納税申告書(期限後申告書・修正申告書・還付請求申告書)を提出します。

課税標準数量の計算	① 積込場所の所在地及び名称	積込数量		
		② 本則税率適用分	③ 軽減税率(沖縄便)適用分	④ 軽減税率(離島便)適用分
	〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3 〇〇空港	10,000	0	0
	〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3 〇〇空港 (みなし積込み)	200		
	計 (課税標準数量)	10,200		
	税率	⑧ 1klにつき 9,000 円	⑨ 1klにつき 円	⑩ 1klにつき 円
区分	この申告書による税額	修正申告の場合の 修正申告前の確定額		① 期限後申告・修正申告をする理由・事情
② 本則税率適用分	⑪ (⑤×⑧) 円 91,800	⑬	円	
軽減税率(沖縄便)適用分	⑫ (⑥×⑨)	⑭		
軽減税率(離島便)適用分	⑬ (⑦×⑩)	⑮		
計	⑭ (⑪+⑫+⑬) 円 91,800	⑯		
控除(還付)を受けようとする金額	⑮ 3,600	⑰		
還付を受ける金額	⑯ (⑮-⑭)	⑱		
納付すべき税額 (100円未満の端数切り捨て)	⑰ (⑭-⑮) 88,200	⑲	00	⑳ (⑰-⑲+⑱-⑯) 88,200 円
還付を受けようとする金融機関	(銀行等への振込) 銀行 行 金庫・組合 農協・漁協 預金 口座番号	本店・支店 出張所 本所・支所	(ゆうちょ銀行の貯金口座への振込) 貯金口座の 記号番号 (郵便局等の窓口受取り)	
添付書類	航空機燃料税取卸控除(還付)税額計算書 1 通	申告書作成者氏名		
参考事項		税理士署名		
		税理士法第三十条の書面提出		① (有)
		税理士法第三十三条の二の書面提出		② (有)
修正申告の場合の当初の申告書の提出年月日	※ 令和 年 月 日 確認	※	身元確認 ※ □ 済 □ 未済	確認書類 ※ 個人番号カード/通知カード・運転免許証 其他( )
通信日付印	※ 令和 年 月 日 確認	※	台帳等整理 ※	徴収カード等整理 ※
申告年月日	※ 令和 年 月 日 申告区分	※	年月日 ※ 令和 年 月 日	入力整理 ※

令和3年4月1日以後最初に航行する時において現存していた航空機燃料の数量を記載してください。

「航空機燃料税取卸控除(還付)税額計算書」⑯欄の金額を転記してください。